

## 小田原市消防計画案に対する市民意見の募集結果について

### 1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市消防計画
政策等の案の公表の日	平成27年8月14日（金）
意見提出期間	平成27年8月14日（金）から平成27年9月14日（月）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページなど）

### 2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	27件（2人）
インターネット	1人
ファクシミリ	1人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

### 3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	17
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	1
C	今後の検討のために参考とするもの	7
D	その他（質問など）	2

〈具体的な内容〉

(1) 本計画について

	意見の内容 (要旨)	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1 (P19)	消防職員教育・訓練事業において、小田原厚木道路、西湘バイパスの本線上での災害出動では、消防職員の二次災害防止対策が重要である。	C	自動車専用道路上の事故等は、消防職員だけが対応するわけではありません。関係機関と連携した訓練等で二次災害が起きないように対策していく必要があります。
2 (P20)	消防職員教育・訓練事業における課題は、「金や人がない」という愚痴に見える。また、解決策を提示すべきである。	C	課題の解決には、計画に記載したように人員や人件費が必要となりますが、それ以外の解決策についても検討を重ねていきます。
3 (P26)	「消防水利事務が事務委託契約外であること」は施策推進上の課題である以前に現状の課題ではないのか。また、契約を変更する方向性で、課題を記載した方がよい。	C	消防水利事務は、広域化に伴う課題検討の中で、事務委託契約外と整理されました。1市5町の消防水利は、広域化以前の組合消防のときから1市5町が整備を行っていました。事務委託契約外が現状の課題ということではなく、整備主体が違うことで調整する事項があることが課題になります。
4 (P30)	長期間の被災地派遣に対して、必要な資機材が不足している状況ならば、派遣しなければよい。住民より被災地を優先させる意味がわからない。	C	被災地では、より多くの消防力が必要とされるため、緊急消防援助隊の派遣は重要です。管内で大規模災害などが発生し、緊急消防援助隊を編成できなければ派遣できませんが、できる限り要請に応える必要があります。また、相互援助であるため、県西地区が被災地になった場合には、緊急消防援助隊の派遣を受けることになります。
5 (P46)	消防庁舎の再整備が必要であるとなっているが、すでに計画ができていない理由がわからない。	D	再整備計画はできていません。現在は、再整備に向けて、計画を策定する準備を進めている段階です。
6 (P46)	この計画は、概ね3年ごとに見直すことになっているが、予算と決算は、対象になっているのか。	D	計画に掲載している予算と決算は、過ぎた年度のもので、確定した数値であるので、見直しの対象にはなりません。

7 (P47)	人員増や経費増は困難という状況で、各事業で経費が必要だという記載があるものは事業ができないのではないのか。予算がつかないから事業ができないということはやめてほしい。	C	効率的な組織運営で経費を削減し、一方で必要な事業には、経費を投入することで改善を図っていきます。全体の経費増にならないように努めることや費用をかけずに改善していくことも必要だと考えています。
8	全体を通して、この計画は長期間であるため、首長によって対応が変わるような事業は、計画に入れない方がよい。	C	消防計画は、中長期的な視野で考えて、将来の消防体制を明確にしたものであり、現段階を基準として積み上げたものになります。未来の著しい社会情勢や財政状況などの変化を予測することは難しく、変化した場合には見直すことにしています。また、消防計画は、市の総合計画を上位計画として位置づけており、社会情勢等と同様に総合計画の方向性が変わるのであれば、併せて見直すことになります。

(2) その他（文章の表現等）に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1 (P7)	宿泊施設は大規模集客施設に当てはまらない。	A	当てはまらないため、「大型ショッピングセンターや宿泊施設等の大規模集客施設」から「大型ショッピングセンター等の大規模集客施設や宿泊施設等」に表現を修正します。
2 (P10)	各種応援協定は全ての協定を掲載するか、まとめて掲載するなら協定数を記載してほしい。	A	協定数を掲載します。
3 (P18)	優秀な人材を採用することは、大量退職や災害の複雑化、多様化、広域化にかかわらず必要なことである。	A	表現を修正します。

4 (P18)	定年退職者の推移は、未来の数字だけで死亡や懲戒処分などによる退職が入っていない。定年退職予定者の数というべきではないか。また、赤線で括られた箇所も説明が必要である。	A	表は定年退職予定者を示したもので、死亡や懲戒退職は対象としていません。表現を修正し、赤線部分は説明を追加します。
5 (P19)	免許の取得費用に救急救命士や危険物取扱者などを追加した方がよい。また、資格や免許等の取得費用とした方が、次頁の表記と統一される。	A	救急救命士や危険物取扱者などの表現を追加します。意味が変わってしまうため、資格や免許等の取得費用は修正しません。
6 (P21)	小田原市役所（荻窪出張所）は耐震工事中であるため、未改修ではなく、改修中に変更した方がよい。また、塗りつぶし箇所の説明がない。	A	改修中に修正します。塗りつぶすことで混同することがあるため、塗りつぶしはしないように変更します。
7 (P24)	耐震工事は、消防施設維持管理事業と消防庁舎再整備事業の両方に記載があり、重複している。どちらに分類されているのか。	A	耐震工事は、消防庁舎再整備事業で実施していきます。消防施設維持管理事業の中で分かりづらい表現がされているので修正します。
8 (P24)	消防庁舎と消防署所という言葉は、使い分けをしているのか。	A	消防庁舎は消防署などの建物を表し、消防署所は建物だけでなく組織なども含めて、全ての消防署、分署と出張所を包括して表しています。分かりやすくするため、一部の表現を修正します。
9 (P25)	地震以外に火山の噴火やテロなどでも同時多発的に火災が発生するのではないか。	A	火災の発生原因は、地震だけではありませんが、この文章では、地震で消防水利が同時に使えなくなることを想定しています。内容が伝わりにくいため、表現を修正します。

10 (P26)	事務委託契約について、消防団事業のように各市町が管理しているのであれば、注釈を入れた方がよい。事務委託契約とは、何の事務委託であるかが全くわからないので内容を記載した方がよい。	A	注釈の追加と表現を修正します。
11 (P30)	施策の方向性や事業内容で書かれていないが、施策推進上の課題で消防車両や資機材の規格を統一することが課題になっている。	A	表現を修正します。
12 (P32)	救急需要の増加に対して、更新年数の短縮を検討するのであれば、救急車の台数を増やすことも検討した方がよい。	A	表現を修正します。
13 (P33)	事業内容の書き方が、他の事業（「〇〇を図る。」など）と異なり、体言止めになっているので修正した方がよい。	A	表現を修正します。
14 (P44)	「（今後の見通し）」は、目次に入れるか削った方がよい。	A	「（今後の見通し）」は削ります。
15 (P46)	消防庁舎の再整備や消防情報指令システムの更新などの大規模事業が見込まれているとなっているのに、各事業では説明の記載がないので追加した方がよい。	A	現段階では、未確定の事業であるため、平成 34 年度の文言を削ります。
16 (P46)	9月に平成 26 年度決算額が出るのであれば、（1－4 消防予算額及び決算額の表に）決算額を入れる枠は作っておいたほうがよい。	B	空白の枠は作っていませんが、当初の予定通り平成 26 年度決算額を追加します。

17	火災予防の推進で「等」という表現が多い。	C	内容が伝わらないような多用はしないようにします。
18	同一のものが複数の表記になっているため、統一した方がよい。 ①「出動」と「出場」 ②「取り組み」と「取組み」 ③「高機能消防情報指令システム」、「高機能消防指令システム」と「消防情報指令システム」 ④「大量退職期」、「団塊世代の大量退職」、「大量定年退職期」など ⑤「消防職員の定年退職に伴う消防力の低下」と「大量退職者による消防力の低下」	A	①「出動」、②「取り組み」、③「消防情報指令システム」、④「職員の大量定年退職」、⑤「消防職員の大量定年退職による消防力の低下」で統一します。
19	表記が誤っているため、修正した方がよい。 ①「消防に関する高度の知識」⇒「消防に関する高度な知識」 ②「住民」⇒「来庁者」 ③「衛生面、執務環境面で最も悪いことから」⇒「衛生面、執務環境面が悪いことから」 ④「5 施策推進上の課題」⇒「4 施策推進上の課題」 ⑤「火災予防の推進」⇒「3 火災予防の推進」	A	①「消防に関する高度な知識」、②「来庁者」、③「衛生面、執務環境面が悪いことから」、④「4 施策推進上の課題」、⑤「3 火災予防の推進」に修正します。